

千葉大学医学部附属病院で敗血症にて入院された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2024年1月26日

救急科・集中治療部

現在、救急科・集中治療部では、「高齢者/非高齢敗血症患者それぞれにおける、血中 Interleukin-6 (IL-6) の予後予測能の差」に関する研究を行っています。以下に示す方の診療情報を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2012年10月1日～2022年3月31日の間に、当院ICUに敗血症の診断で入院された方

1. 研究課題名

「異なる年齢区分の敗血症患者における血中 Interleukin-6 と予後との関係の検討」

2. 研究期間

2024年承認日～2027年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

目的：高齢/非高齢敗血症患者さんそれぞれにおける、血中 Interleukin-6 (IL-6, 侵襲時に体内で産生される蛋白の一種) の予後予測能について検討を行います。IL-6 は予後予測への有用性が示唆されていますが、その予後との関連は年齢により異なる可能性があります。よって、それを明らかにすることは、敗血症患者さんの正確な予後予測や、適切な医療提供につながると考えられます。

方法：2012年10月1日から2022年3月31日までの間に当院ICUに敗血症の診断で入院された方を対象とします。診療録から治療経過に係る情報を収集し、解析を行います。

4. 研究に用いる情報の種類

診療録に記載されている、患者背景、ICU 入室時所見・経過中の採血データ・経過中のバイタルサインデータ・入室前後・経過中の治療内容・入室から 28 日と退院時の生命転帰・入室 3 日と 7 日後の臓器障害の状況、その他 ICU 部門システムや電子カルテから得られる患者についての診療データ

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：救急科・集中治療部 教授 中田孝明

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた診療情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して厳重に管理します。データ等は、千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学講座の鍵のかかる保管庫で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に、情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：横手 幸太郎）

救急科・集中治療部

医師 大網 毅彦

043（222）7171 内線 6365